

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月26日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102576
法人名	株式会社 ひまわりの会
事業所名	ぼれぼれ登美ヶ丘
所在地	奈良市登美ヶ丘2-2-15 (電話) 0742-43-3323
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 20年 11月17日

【情報提供票より】(20年10月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 15 日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	17 人
常勤	2 人
非常勤	15 人
常勤換算	8.3 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り
	2 階建ての 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	230,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(9,000,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	350 円	昼食	700 円
	夕食	750 円	おやつ	(昼食代に含む) 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月30日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1		名	要介護2	3	名	
要介護3	4	名	要介護4	1	名	
要介護5	1	名	要支援2		名	
年齢	平均	91 歳	最低	82 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田守医院・西奈良中央病院ほか
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、奈良市北西部の閑静な住宅地の中に通所介護や訪問介護事業等の事業所と併設で新築・開設されました。法人の運営理念は「地域に開かれた組織」であることから、コンサートや自治会役員会の会場に場所を提供されています。ホームの理念も尊厳の確保と自立した生活支援を基本に運営されており、入居者は自分のリズム・ペースで穏やかに暮らされています。なお、終末期にも、その人らしさを尊重しながらのケアが実践されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域密着型への改正により行政との連携強化に努められているほか、その人らしい生活を大切にしたい支援の充実や災害対策への対応に取り組みがなされました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義・目的を正しく理解し、研修等の時間を活用して、評価項目について検討・検証し、課題や改善点を把握する機会と捉え全職員参画の下に取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、幅広いメンバーで構成され定期的開催されています。会議では、入居者の状況と運営上の課題等の報告や家族等の意見・要望の聴取等がなされ、サービスの向上に活かす機会として取り組まれています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問時に、意見・要望等を積極的に聞きだす取り組みや定期的に開催されている家族会での意見交換がなされ、寄せられた意見等を検証し運営に反映させる仕組みがあります。なお、意見・要望・相談・苦情内容は詳細に記録されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会への加入はもとより、地域の各種行事への参加や自治会の役員会・音楽会への場所提供等により、地域住民との積極的な交流に努められています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスは、地域との関りを重視されている事から「地域に開かれた組織」を基本方針の一つに掲げた理念が作成されています。		運営規定上に、「地域住民との交流」の視点を明確にした表記への検討が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時や毎月の研修会で、理念の確認・実践への話し合う取り組みがなされています。また、事業所内の見やすい場所に理念の掲出がなされています。		理念は、全体の雰囲気配慮した大きさにし、簡潔かつ優しい表現にする等掲出への工夫を期待します。
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の各種行事への参加や自治会の役員会・音楽会への場所提供等により、地域住民との積極的な交流に努められています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、研修の時間を活用して、自己評価項目を検討・検証し課題や改善点等の把握する機会として取り組まれています。なお、外部評価結果についても職員に周知が図られると共に玄関に自己評価結果と一緒に公開されています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、幅広いメンバー構成により設置され定期的に開催されています。会議では、入居者の状況と運営上の課題等の報告・家族の意見・要望の聴取等がなされ、サービスの向上に活かす機会として取り組まれています。なお、当該会議には、家族の出席はオープンにされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスは、行政との連携は不可欠との考えがあり、毎月2～3回訪問され課題解決の相談や情報交換に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の介護状況や計画を月次報告に纏め報告されています。また、家族の訪問時にも暮らしの様子を随時報告されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に、意見・要望等を積極的に聞きだす取り組みや、定期的開催されている家族会で意見交換がなされ、寄せられた意見等を検証し運営に反映させる仕組みがあります。なお、意見・要望・相談・苦情内容も詳細に記録されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活の確保には、相互の信頼関係の構築が大きな要素であることから、家族への紹介や適当な引継ぎ期間の確保等職員異動には細やかな配慮がなされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	サービスの質の向上は、職員の質と連動するとの思いがあり、年間計画を立て事業所内研修が実施されています。また、外部研修にも積極的に参加され、習得された果実はレポートを作成し回覧されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行政等主催の研修会に参加され情報や意見交換する機会が確保されています。		地域の同業者との交流は、サービスの質の向上と職員育成に大きな効果が得られると期待いたしますので、検討を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居は本人の納得が基本である事から、見学時に入居者のレク時間や併設の通所介護施設の活用等を通じて雰囲気に馴染んでもらい、安定した入居に繋がられています。また、必要な方には、短期入居も取り入れられています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居前の生活歴や暮らしの中から得た情報を基に、得意分野で能力が発揮できる機会(編みもの・家事全般等)をつくり協働・共感する関係に努められています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	個性に応じた支援を図るために、アセスメントでの情報や生活の中での言動から得た情報を詳しく記録・蓄積し、共有化が図られています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画は、心身の特性を踏まえ自立した生活支援に繋げるものとの考えから、計画担当者が中心に関係者が相談し検討・作成されています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画は3月毎に見直すこととされており、さらに現状に即したものとするため、毎月、全職員によるカンファレンスが行われ、支援方針や内容について検討されています。なお、入居者の状況に変化が見られる時には、随時見直しがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や買い物・外泊等について、家族の状況を勘案され柔軟な支援に努められています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に「かかりつけ医」について家族等と相談され決める事とされています。従来からの継続についても希望に沿って支援されています。なお、かかりつけ医との相談・連携には常に配慮されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族等にとって、重度化・終末期への関心は高いものがあるとの思いから、これらに対処するための方針が明確化(文書化)されており、家族への説明と共に職員に方針の理解・共有化が図られています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「人格の尊重・誇りを損なわない」を支援の基本の一つとされ、研修会等での学習と共に実践での言動には常に留意されています。なお、個人情報に関する各種記録類は、決められた場所で管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活は、一人ひとりの生活のペース・リズムを優先に支援されています。また、外出や散歩等についても、本人の希望に合わせた支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事も持てる能力を引き出す機会と捉え、調理や配膳に協働され、職員も食事を一緒にされ楽しい雰囲気作りに努められています。また、入居者の希望を取り入れた献立への取り組みもなされています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日の設定は無く、一人ひとりの体調や希望に合わせた入浴支援がなされています。なお、就寝前に入浴支援も対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や日常の言動から得た情報を基に、得意分野で能力が発揮できる場面作りに工夫され、生きがい・楽しみ事や気晴らしへの支援が図られています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の散歩や敷地内の庭での外気浴を日常的に取り入れられているほか、買い物に同行される等外出機会の確保に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害を正しく理解され、しっかりした見守り中心で玄関は常に開錠されています。なお、居室が2階にあるため、屋内エレベータの設置がなされています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災を想定し、定期的に避難訓練が実施されており、非常通報装置の設置・職員の連絡網の整備や地域住民への協力要請がなされています。なお、震災に備え、飲料水や食料の備蓄もなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の摂取量や水分補給の状況を介護記録に詳細に記入されると共に、栄養バランスについても管理栄養士に相談され健康管理に十分配慮されています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ダイニングや廊下は広く明るく、加えて照明や採光にも配慮されているほか、トイレや浴室も清掃が行き届き異臭も無く快適な共用空間となっています。また、ソファの配置もなされ、思い思いに過ごせる場所も確保されています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一人ひとりが、使い慣れた調度品や思い出の品等が持ち込まれ、穏やかに過ごせる場所となっています。</p>		